ゲンロク 2020年2月号（毎月26日発売）
12月25日発売　No.408　第35巻第2号

Car Entertainment Magazine

［ゲンロク］

GENROQ

2020
FEB
No.408
2

定価 998Yen

The Grand Touring

グランドツーリングの悦楽

マクラーレンGT日本初試乗!

アストンマーティンDBSスーパーレッジェーラ、
ポルシェ911カレラ4S、マクラーレンGTの長距離性能

英国流、オープンGTの潜在能力

ポルシェ／メルセデス・ベンツ特選ショップ

［FIRST IMPRESSION］マクラーレン・セナGTR

［SUPER TEST］フェラーリ488ピスタ

［ハイパフォーマンスSUVの世界］アストンマーティンDBXプロトタイプの実力

BMW X7 vs アウディQ8／BMW X3M vs アルピナXD3

REPORT●中三川大地(NAKAMIGAWA Daichi)　PHOTO●白谷 賢(SHIRATANI Ken)

HYPER FORGED HF-LMC for RANGE ROVER SPORT

待望のニューモデル、発進！
新たな境地へ

つ いに待ち望んでいた時がやってきた。本誌では今まで幾度となくハイパーフォージドを中心としたコーディネートを紹介し、その優美かつスポーティな姿と、車種やカテゴリーを問わずハイエンドカーを自在に染め上げる様子を伝えてきた。そうした過程の中で2020年を目前にして、いよいよ待望の新作をキャッチしたのだ。

その名もHF-LMC。日本屈指の鍛造技術と、きめ細かいオーダーメイド体制を武器とするハイパーフォージドは、いつも無骨で力強い表情を持っていた。しかしHF-LMCの造形は実に繊細だ。スポークがセンターキャップから芽生え、ボルトホールを避けるようにリムへ向かって二手に別れ、その先でさらに分割するような形状を持つ。10本のツインスポークとも取れるし、あるいはメッシュタイプと捉えてもいい。スポークエッジ部分には丁寧なマシニング加工が施され、角度を変えるたびに異なる印象を投げかける。初見での印象はとても繊細でエレガント。じっくり観察すれば、いかにも鍛造削り出しを訴えるハイパーフォージドっぽい、いつものたくましい雰囲気が浮き出てくる。クラシカル・ピアスボルトの効果も絶大だ。

この多様な表情が、車両のコーディネートを締める欠かせないキーデバイスになっている。今回、装着したのはレンジローバー・スポーツ。それもキャラクター・エクスクルーシブ製のボディキットで統一される純白の個体だった。フロントバンパーとリヤスポイラーが紡ぎ出す純正とはひと味違う表情と、それらをつなぎとめるフェンダーフレア（オーバーフェンダー）が装着される。フルバンパーにこだわり、自動車メーカー純正バンパーのOEMも手がけてきたキャラクター製ボディパーツだけにその質感は申し分ない。

何より、英国紳士調なレンジローバーの世界観を残しつつ、これらボディパーツを取り入れた姿は、まさにHF-LMCにピッタリだと思う。フェンダーフレアを前提としたことで、フロントは10・5J、リヤには12・5Jもの24インチサイズを飲み込ませた。タイヤサイズにしてそれぞれ295／30、355／25もの極太サイズだ。ノーマルボディならリヤは最大でも前後10・5J程度だろう。カスタムカーの状態に合わせて限界まで攻められるのが、3ピース構造の多様性を活かしてオーダーメイド体制を敷くハイパーフォージドの強みである。

また、ホイールハウスいっぱいにスポークが拡がってその存在感を振りまくようなデザインで、かつ実寸で24インチもありながら、無理して履かせたような大径感は感じさせない。大柄なレンジローバーのボディとはきっちり調和する。

さらにオーダーメイドの利点はコーディネートにもある。ディスクやアウターリムをライトブロンズで統一。ポリッシュ後に施されたアルマイト加工（ポリッシュドナアダイズド）によって、いかにも鍛造素材っぽい光沢を放ちつつ、純白のボディの中での存在感を際立たせる。

もちろん、今回のコーディネートはほんの一例だ。車種やカテゴリー、あるいはユーザーの趣味趣向によって、あらゆる表情へと導くことが可能となる。HF-LMCは下は19インチ、上は24インチまで用意される。今回は前後ともセミコンケープだったが、サイズによってはより立体感のあるディープコンケープも選べる。ハイパーフォージドが得意とするスーパースポーツ系にピタリと一致させてもいいし、コンパクトからミドル系、あるいは今回のようなSUV勢に上手く取り入れてもいいサイズ設定に加えて、フィニッシュを含めた柔軟なオーダーメイド体制が構築されるだけに、あとは乗り手やカスタマイザーのセンスにかかっている。2020年、HF-LMCがハイエンド界隈を賑わすことになりそうだ。闇夜でその存在感を露わにするレンジローバーが、そう訴えかけてくるようだった。

2020年に発売開始されるHF-LMC。既存のハイパーフォージドの世界観を、複雑なメッシュ形状として成立させた。ボルトホール周辺の限界まで攻めた造形や、多彩なフィニッシュなど見所は多々ある。日本最高峰の鍛造＆切削技術を駆使した強靭かつ軽量な仕上げを持つ。

←キャラクター製のボディキットで統一したレンジスポーツにHF-LMCが調和する。フロント10.5J、リヤ12.5Jの24インチに、それぞれ295/30、355/25のVredestein（ヴェレデスティン）タイヤが組み合わされる。

SIZE LIST

HYPER FORGED HF-LMC	
19インチ(7.5J～15.0J)	ask
20インチ(7.5J～17.0J)	ask
21インチ(7.5J～14.0J)	ask
22インチ(8.0J～14.0J)	ask
24インチ(9.0J～12.5J	ask